



D.I. 質問箱

Q65

推算 GFR（eGFR=推算糸球体濾過量）の活用法について教えてください。

A65

推算 GFR の活用	① CKD の診断	1) 尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害が明らか 2) GFR が [♯] 60 mL/min/1.73m ² 未満 《1、2のいずれか、または両方が 3 か月以上持続すること》																					
	② CKD 患者を腎臓専門医に紹介する指標	1) 尿蛋白/尿 CRE 比が [♯] 0.5g/gCr 以上か、試験紙 2+以上の蛋白尿 2) 推算 GFR が [♯] 50mL/min/1.73m ² 未満 3) 蛋白尿と血尿が共に陽性(1+以上) 《いずれか一つでも該当する場合、腎臓専門医への紹介を考慮》																					
	③ CKD のステージ分類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ステージ</th> <th>重症度の説明</th> <th>推算 GFR 測定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>腎不全</td> <td>15 未満</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>GFR 高度低下</td> <td>15～29</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>GFR 中等度低下</td> <td>30～59</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>GFR は軽度低下(腎障害の存在)</td> <td>60～89</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>GFR は正常(腎障害の存在)</td> <td>90 以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ハイリスク群</td> <td>90 以上(*)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*)CKD のリスクファクターの存在が前提(高齢、家族歴、高血圧、糖尿病、メタボ等) 【推算 GFR の基準値】90～130mL/min/1.73m²</p>	ステージ	重症度の説明	推算 GFR 測定値	5	腎不全	15 未満	4	GFR 高度低下	15～29	3	GFR 中等度低下	30～59	2	GFR は軽度低下(腎障害の存在)	60～89	1	GFR は正常(腎障害の存在)	90 以上		ハイリスク群	90 以上(*)
	ステージ	重症度の説明	推算 GFR 測定値																				
5	腎不全	15 未満																					
4	GFR 高度低下	15～29																					
3	GFR 中等度低下	30～59																					
2	GFR は軽度低下(腎障害の存在)	60～89																					
1	GFR は正常(腎障害の存在)	90 以上																					
	ハイリスク群	90 以上(*)																					
④ 他の腎疾患における腎機能評価																							

【参考】
CKD 診療ガイド 2009
(日本腎臓学会編)

お問合せ：学術データインフォメーション (D.I.) 課まで
0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)



「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ驚ろかれぬる」 古今集の秋歌
劈頭を飾る名歌。これは藤原敏行が立秋の日に詠んだ歌だそうです。

朝晩がめっきりと涼しくなり、今年の夏も終わりかと思うとなんだか淋しさを感じ
ます。とくに今年の夏は短かったせいかな(…年のせいかな)、淋しさもひとしおです。

先日、某 50 代男性が「秋って淋しいんだよなあ」って言っていたと聞いて、「…似
合わない」とちょっとおかしかったのですが、やっぱり男性にもそういう感傷はある
ものなのです。そうですね、藤原敏行も歌っているわけですから。私とは言え
ば、虫の声を聴きながら「平家物語」を読み無常観に浸っている今年の秋です。

谷敷 圭美 (多項目総合健診科科长補佐)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

